

事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー

事業名	動物愛護センターに收容された犬を保護・一時飼養し、終生飼養家庭につなげる保護犬譲渡会および啓もう活動事業								
助成事業の種類	SDGs 推進事業（地球分野）								
1. 事業の目的	<p>動物愛護センターなどに收容される犬の数は全国で 27,000 頭を超え、4,000 頭以上が殺処分されています。その理由は「生まれてしまったから」「病気になった」「飼えなくなった」など人間の一方的な理由によるものがほとんどです。家族なら、人間のこどもなら同じ理由で捨てるということはしないのに、犬というだけで命が軽んじられている現状がまだ解消されていません。身の回りにある生き物の命を大切に思うことは、地球規模での生物多様性の考えの基礎となるものだと考えています。</p> <p>その対策として、2つの活動が必要だと考えています。</p> <p>一つは犬たちに終生飼養の家庭を探す譲渡活動</p> <p>二つ目は、そもそも保護犬が生まれにくい世の中にしていくための啓蒙活動</p> <p>今回の申請では 11 月開催の譲渡会にまつわる一連の業務として犬の引き出し～終生飼養家庭へのお届けまでの譲渡会事業および、譲渡会を通じた啓蒙活動事業を申請しました。</p>								
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	<ul style="list-style-type: none">・犬の保護活動を通じて殺処分される命を救う・保護犬が生まれる原因のひとつである適切な飼育に関する意識が一般に広がっていないこと								
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	<p>令和 4 年 7 月 21 日以降、動物愛護センター等からの引き出しを開始。医療ケアなどを施したのち、11 月 19 日（日）に譲渡会を開催しました。この譲渡会で里親様につながった 2 頭はそれぞれ 11 月・12 月に終生飼養家庭へのお届けを完了しました。</p> <table border="1"><thead><tr><th>時期</th><th>内容</th></tr></thead><tbody><tr><td>7 月～11 月</td><td><ul style="list-style-type: none">・動物愛護センター から收容犬を引き出し・一時飼養者宅へ搬送、病院にて検査・治療等・保護犬のトリミング実施・ブログ等 SNS にて日々の様子を一時飼養者が 公開</td></tr><tr><td>8 月～10 月</td><td>個別お見合い</td></tr><tr><td>11 月 5 日、18 日</td><td><ul style="list-style-type: none">・公式ブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報・預かりスタッフブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報</td></tr></tbody></table>	時期	内容	7 月～11 月	<ul style="list-style-type: none">・動物愛護センター から收容犬を引き出し・一時飼養者宅へ搬送、病院にて検査・治療等・保護犬のトリミング実施・ブログ等 SNS にて日々の様子を一時飼養者が 公開	8 月～10 月	個別お見合い	11 月 5 日、18 日	<ul style="list-style-type: none">・公式ブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報・預かりスタッフブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報
時期	内容								
7 月～11 月	<ul style="list-style-type: none">・動物愛護センター から收容犬を引き出し・一時飼養者宅へ搬送、病院にて検査・治療等・保護犬のトリミング実施・ブログ等 SNS にて日々の様子を一時飼養者が 公開								
8 月～10 月	個別お見合い								
11 月 5 日、18 日	<ul style="list-style-type: none">・公式ブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報・預かりスタッフブログにて 11 月度譲渡会の案内を広報								

	<p>11月19日</p>	<p>譲渡会開催 ※本資料 p4 に写真添付</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時 11月19日 11時～14時 ・会場 ペットステーション WAN (三郷市三郷 2-11-15) ・告知 11月11日、11月16日付公式ブログ、SNS にて開催告知・集客 ・参加者 18組 42名 (・成果 2頭のトライアルが決定し、11月・12月に終生飼養のご家族宅にお届け)
	<p>11月23日</p>	<p>終生飼養宅へのお届け搬送 (1頭目)</p>
	<p>11月29日</p>	<p>公式ブログにて広報活動 (譲渡会報告) を実施</p>
	<p>12月7日</p>	<p>終生飼養宅へのお届け搬送 (2頭目)</p>
	<p>1月</p>	<p>オリジナル啓蒙ステッカーの制作</p>
	<p>1月27日・28日</p>	<p>譲渡会来場者に啓もうメッセージとステッカーを配布</p>
	<p>○成果</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象期間内で愛護センターから 36 頭を引き出し ・11月譲渡会参加の 18 組 42 名様 ※写真 1 ・11月譲渡会 2 頭のトライアルが決定 その他個別お見合いなどを通じ期間内で計 14 頭が正式譲渡となっています。 ・譲渡会を通じた啓もう活動 7月以降の事業期間内に開催された譲渡会来場者に、保護犬を説明した「アグリリーフレット」「あるいぬのおはなし」を配布し啓もう活動実施 ・1月からはあらたに啓蒙ステッカーとメッセージを制作し、1月27・28日開催の譲渡会来場者に配布。 ※写真 2 <p>○広報実績について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・11月譲渡会開催の広報 11月5日、18日 公式ブログと預かりスタッフブログにて告知活動を実施 ・11月譲渡会報告の広報 11月29日 公式ブログと預かりスタッフブログにて告知活動を実施 	
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・7月以降のレスキュー活動、一時飼養を経て、14 頭を終生飼養家庭へお届けすることができています。 ・啓蒙活動として、期間内での譲渡会で保護犬を説明した「アグリリーフレット」「あるいぬのおはなし」を配布し啓もう活動実施。さらに新しい取り組みとしてオリジナルの啓蒙ステッカーを制作し、1月からの譲渡会場にて 400 枚 	

	を配布。
5. 費用面での工夫	<p>譲渡会に参加するには医療ケア、トリミングなどの費用がかかります。医療は保護犬価格で診療してくれる交渉を重ね、協力病院を開拓しています。トリミングについてもボランティアで実施してくれる方にご依頼し、費用を抑えています。</p> <p>今回の事業で実施したステッカー制作についてもこれまでアグリを応援してくれている方の中でイラストを描いてくださるかたがいたため、その方にボランティア価格でご依頼し費用を抑えながら実現しています。</p>
6. 地域社会への還元について	譲渡会場での啓蒙資料・ステッカーの配布を通じて適正飼養と犬の命への意識付けを行いました。
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	譲渡会場での啓蒙活動に力を入れたい。譲渡会には保護犬について詳しく知らないかたも来場します。この方たちに、保護犬の実態や生まれる原因、それを防ぐ適正飼養などをテーマとしたお話会を実施するなどして、知ってもらおう努力を重ねることで「保護犬が生まれない世界の実現」を目指していきたいと思料。

写真1 11月譲渡会の風景



写真2 オリジナルステッカーとメッセージ



「保護犬」がいなくなる世界をめざして



本日は雑種の子から純血種まで様々な犬種の子たちが、会場に集まりました。
どの子も個性的で、愛らしい子ばかりかと思えます。

なぜこのような子たちが「保護犬」として、今ここにいないといけないのでしょうか。
実は毎年、25,000頭以上の犬が全国の動物愛護センターなどに収容されています。
最近では殺処分数の数は減ってきてはいますが、それでも収容される犬がゼロになることはありません。
かつてペットとして暮らしていた犬。野犬として捕獲された犬。生まれてしまった子犬。
迷子や捨てられていて収容された犬。飼い主の転居や死亡、引越越し、子どもがアレルギーになったから…。
どれもが、人間たちの都合による理由であることにお気づき頂いたでしょうか？

「保護犬」をこの世からなくすために、誰にでもできる活動があります。
それは、最後のその時まで、ずっと家族として大切にすること。
どうか、この子たちの命をかけがえのない大切なものとしてとらえてあげてください。
そしてそのことを、皆様の周りの方にも伝えてあげてください。
一人ひとりが、この思いをもって犬に向き合うことができれば、
きっと「保護犬」を救うという活動は不要になることでしょう。

そのような想いを込めて、本日はご来場のお礼にステッカーをご用意しました。
私たちアグリドッグレスキューは、皆様とともに「保護犬がいなくなる世界」を作ってまいります。

特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー

【使用上のご注意】ステッカーは剥がせるタイプの糊を使用しています。またラミネート加工も施していますが、ご使用の環境下でははがれたりすることをご容赦ください。また大切な持ち物に貼る場合は、目立たぬ位置で試してみてもらってください。



事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人アグリドッグレスキュー

1 収入の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	500,000	500,000	0	
自己資金	102,397	90,045	-12,352	
事業実施による収入等			0	
その他			0	
合計	602,397	590,045	-12,352	

2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費		0	0	
通信運搬費		0	0	
旅費交通費	20,000	20,870	870	
消耗品費		0	0	
備品費		0	0	
委託費	52,397	54,069	1,672	
謝金		0	0	
人件費		0	0	
その他	530,000	515,106	-14,894	
合計	602,397	590,045	-12,352	